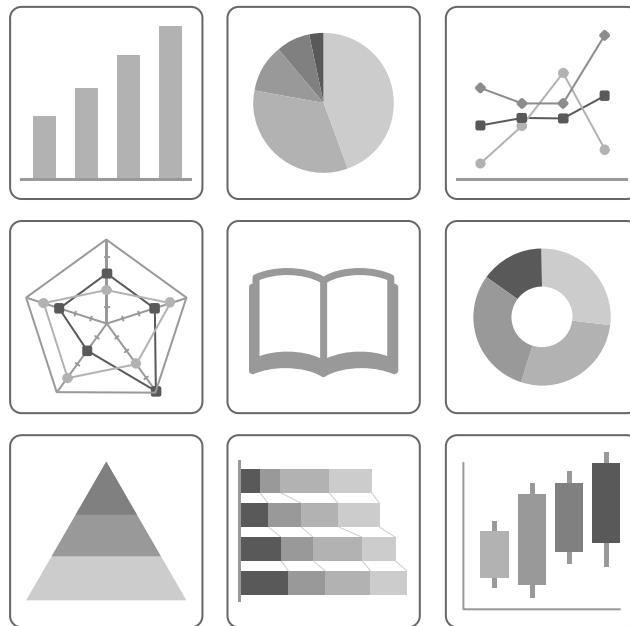


坂出市高齢者福祉計画および 第8期介護保険事業計画策定に係る 事業者等ヒアリング調査結果報告書



令和2年9月

坂 出 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
II	事業所調査結果	2
1	回答者属性	2
2	市内で運営している事業の利用状況について	4
3	今後の介護サービスへの取り組み意向について	7
4	事業運営状況や問題点、課題等について	8
5	医療連携等について	18
6	認知症について	23
7	新型コロナウイルス感染症について	31
III	その他団体ヒアリング結果	33
1	団体の概要について	33
2	活動概要について	34
3	現在の状況・課題について	35
4	今後の方向性について	36
5	他のボランティア団体等との連携について	37
6	坂出市との連携状況と課題について	38
7	新型コロナウイルス感染症について	39
8	坂出市に対する要望等	40

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、高齢者のかたがたが、健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けて、令和3年度から令和5年度までの3ヵ年を計画期間とする第8期介護保険事業計画を策定します。今回の調査は、介護保険事業等に関する計画を見直し、今後の高齢者福祉施策を推進していくための基礎資料を作成することを目的としています。

2 調査対象

坂出市内の事業者および地縁団体

3 調査期間

令和2年8月19日から令和2年9月7日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

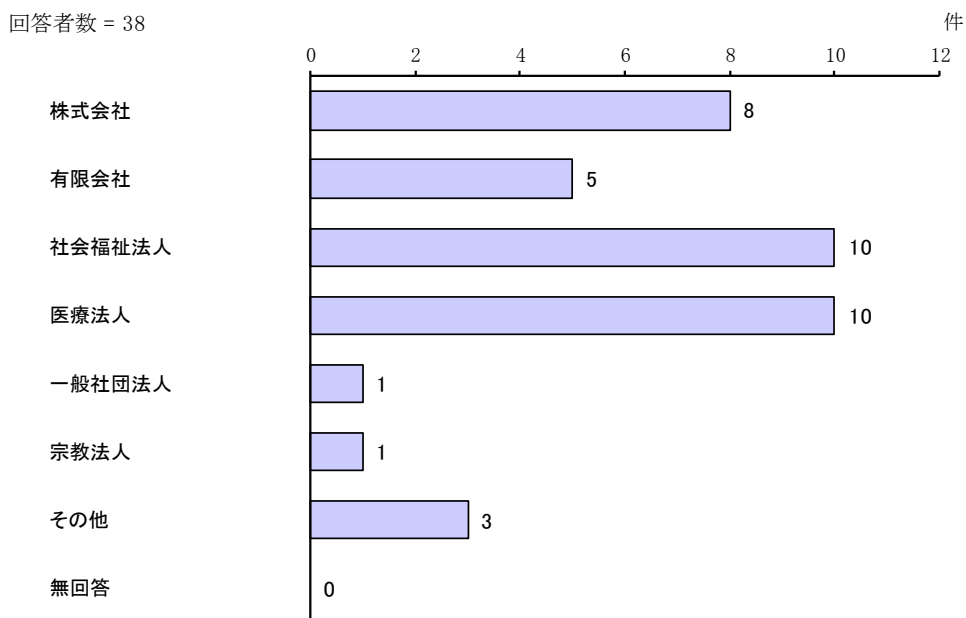
	配布数	有効回答数	有効回答率
事業者	43通	38通	88.4%
シルバー人材センター	1通	1通	100.0%
社会福祉協議会	1通	1通	100.0%
地区社会福祉協議会連絡協議会	1通	1通	100.0%
婦人団体連絡協議会	1通	1通	100.0%
民生児童委員協議会連合会	1通	1通	100.0%
連合自治会	1通	1通	100.0%
老人クラブ	1通	1通	100.0%
特定非営利活動法人	1通	1通	100.0%

Ⅱ 事業所調査結果

1 回答者属性

問2. 事業者の形態はどれにあてはまりますか。1つ選び○印をつけてください。

「社会福祉法人」、「医療法人」が10件と最も多く、次いで「株式会社」が8件となっています。



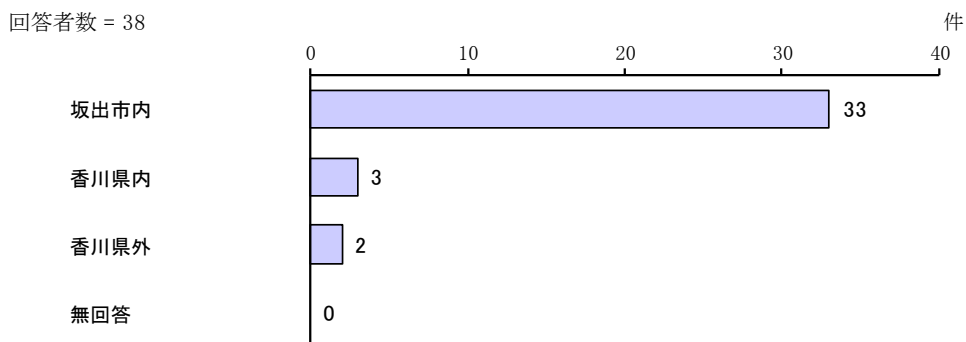
【その他意見】

- ・ 特定非営利活動法人
- ・ 社会医療法人
- ・ 特定非営利活動法人

問3. 事業者および本社所在地をご記入ください。

本社所在地

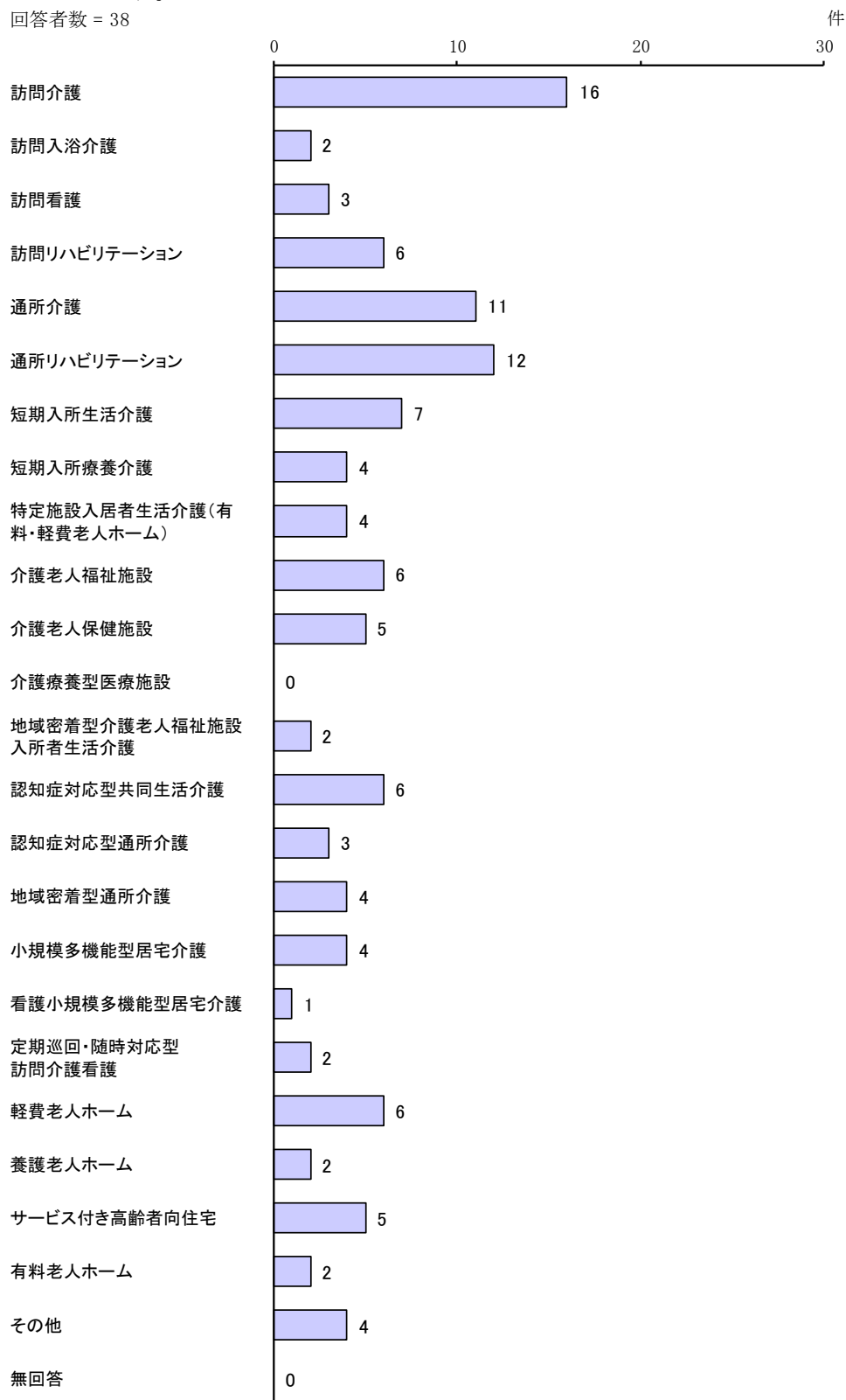
「坂出市内」が33件と最も多くなっています。



問4. 運営している事業サービス種類すべてに○印をつけてください。(※市外含む)

「訪問介護」が16件と最も多く、次いで「通所リハビリテーション」が12件、「通所介護」が11件となっています。

回答者数 = 38



【その他意見】

- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 福祉用具貸与, 特定福祉用具販売
- ・ 居宅介護支援

2 市内で運営している事業の利用状況について

問5. サービスごとに、令和2年6月1日時点のそれぞれの利用状況等を教えてください。

介護サービスの利用状況

1. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）

※特定施設入居者生活介護（軽費老人ホーム）の回答者はいませんでした。

定員数	81人					待機者数	20人	
入居者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	3人	2人	11人	6人	7人	3人	4人	36人
坂出市外被保険者	0人	2人	6人	9人	13人	9人	3人	42人

2. 介護老人福祉施設

定員数	250人					待機者数	594人	
入所者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計		
坂出市被保険者	0人	4人	35人	79人	61人	179人		
坂出市外被保険者	0人	1人	10人	26人	27人	64人		

3. 介護老人保健施設

定員数	360人					待機者数	42人	
入所者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計		
坂出市被保険者	35人	39人	52人	56人	34人	216人		
坂出市外被保険者	12人	21人	27人	25人	24人	109人		

4. 地域密着型介護老人福祉施設

定員数	58人					待機者数	127人	
入所者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計		
		0人	0人	14人	24人	19人	57人	

5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

定 員 数	125人			待 機 者 数	28人		
入 居 者 数	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	1人	40人	23人	18人	21人	11人	114人

6.（看護）小規模多機能型居宅介護

	登録者数	利用者数							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	90人	20人	10人	21人	21人	17人	10人	9人	108人
坂出市外被保険者 （住所地特例）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

	利用定員		1日あたりの利用者数			
	通い サービス	宿泊 サービス	通いの 利用者数	泊まりの 利用者数	訪問の 利用者数	短期 利用者数
坂出市被保険者	84人	44人	1,171人	520人	692人	8人
坂出市外被保険者 （住所地特例）	0人	0人	0人	0人	0人	0人

◆現在の小規模多機能型居宅介護事業所から看護小規模多機能型居宅介護事業所への転換
「考えている」が0件、「考えていない」が5件となっています。

7. 認知症対応型通所介護

定 員 数	22人			登 録 者 数	10人			
1日あたりの利用者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	1人	1人	5人	0人	3人	0人	0人	10人
坂出市外被保険者 （住所地特例者）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
総 合 事 業	0人	0人	総合事業対象者		0人			

8. 地域密着型通所介護

定員数	40人		登録者数	83人				
1日あたりの利用者	総合事業		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	要支援1	要支援2						
坂出市被保険者	14人	19人	22人	13人	6人	3人	0人	77人
坂出市外被保険者 (住所地特例者)	0人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	3人
事業対象者	8人							

9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定員数	50人		登録者数	6人		
入所者数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	2人	2人	1人	1人	0人	6人
坂出市外被保険者 (住所地特例者)	0人	0人	0人	0人	0人	0人

10. 有料老人ホーム

定員数	34人			待機者数	4人				
入居者数	認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	1人	3人	7人	4人	4人	2人	1人	0人	22人
坂出市以外被保険者	0人	1人	1人	2人	0人	0人	1人	0人	5人

11. サービス付き高齢者向住宅

定員数	192人			待機者数	3人				
入居者数	認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
坂出市被保険者	6人	14人	13人	39人	12人	10人	4人	2人	100人
坂出市以外被保険者	1人	2人	7人	14人	7人	10人	7人	5人	53人

12. 医療療養型病床

回答はありませんでした。

3 今後の介護サービスへの取り組み意向について

問6. 下記介護サービスのうち、現在の実施中サービスと今後の取り組み意向について、あてはまるものに○印をつけてください。

ほぼすべての事業で「予定なし」が多くなっています。「取り組み意向がある」の回答があった事業は、「5. 通所介護」「19. 短期入所者生活介護」、「検討中」の回答があったのは「2. 訪問入浴介護」「3. 訪問看護」「14. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」「17. 介護老人保健施設」「18. 介護医療院」となっています。

■ 取り組み意向がある ▨ 検討中 □ 予定なし □ 無回答

回答者数 = 38

1. 訪問介護



2. 訪問入浴介護



3. 訪問看護



4. 訪問リハビリテーション



5. 通所介護



6. 通所リハビリテーション



7. 小規模多機能型居宅介護



8. 看護小規模多機能型居宅介護



9. 認知症対応型共同生活介護



10. 認知症対応型通所介護



11. 地域密着型通所介護



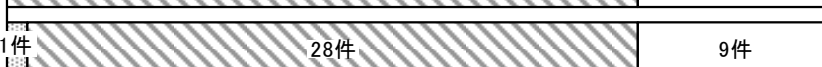
12. 夜間対応型訪問介護



13. 定期巡回随時対応型
訪問介護看護



14. 地域密着型介護老人福祉施設
入所者生活介護



15. 特定施設入居者生活介護



16. 介護老人福祉施設



17. 介護老人保健施設



18. 介護医療院



19. 短期入所者生活介護



20. その他



◆介護サービスの取り組み意向がある、検討中の事業

①取り組み意向がある事業

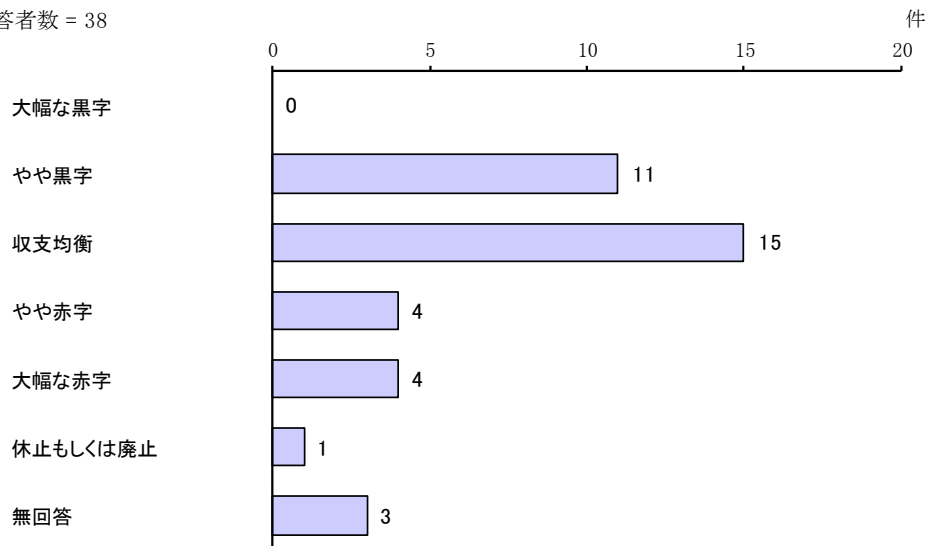
サービス名	開設希望時期	希望場所	床数	事業者
通所介護	令和4年4月	林田町	—	社会福祉法人
短期入所者生活介護	令和4年4月	林田町	20床	社会福祉法人
訪問入浴介護	—	—	—	社会福祉法人（検討中）
訪問看護	—	—	—	社会福祉法人（検討中）
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	—	—	—	社会福祉法人（検討中）
介護老人保健施設	—	—	—	社会福祉法人（検討中）
介護医療院	—	—	—	社会医療法人財団（検討中）

4 事業運営状況や問題点、課題等について

問7. 介護保険事業運営における収支状況について教えてください。1つ選び○印をつけてください。

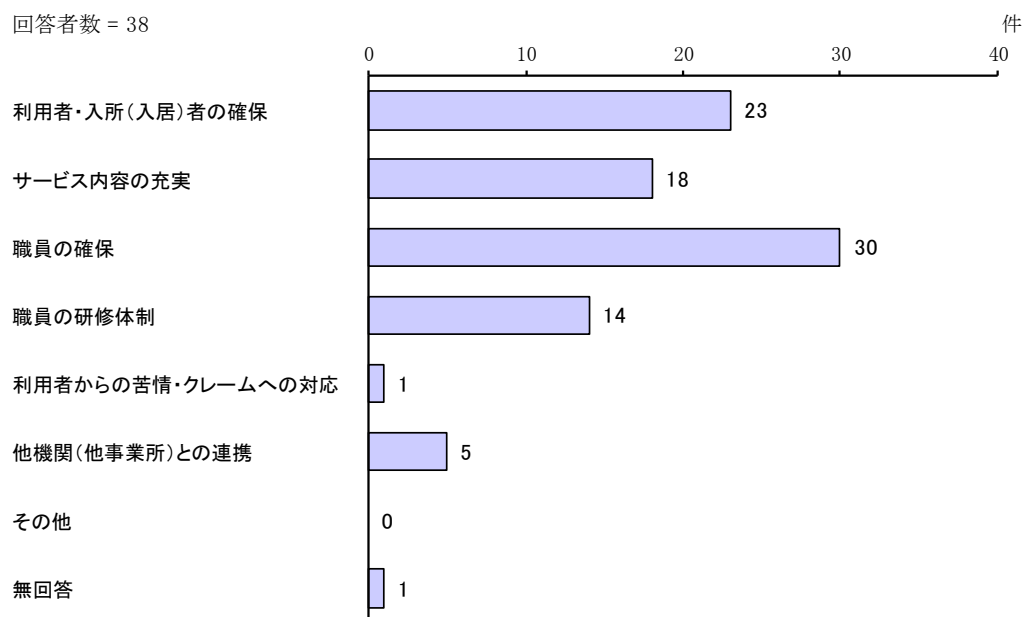
「大幅な黒字」と「やや黒字」をあわせた“黒字”が11件、「収支均衡」が15件、「やや赤字」と「大幅な赤字」をあわせた“赤字”が8件、「休止もしくは廃止」が1件となっています。

回答者数 = 38



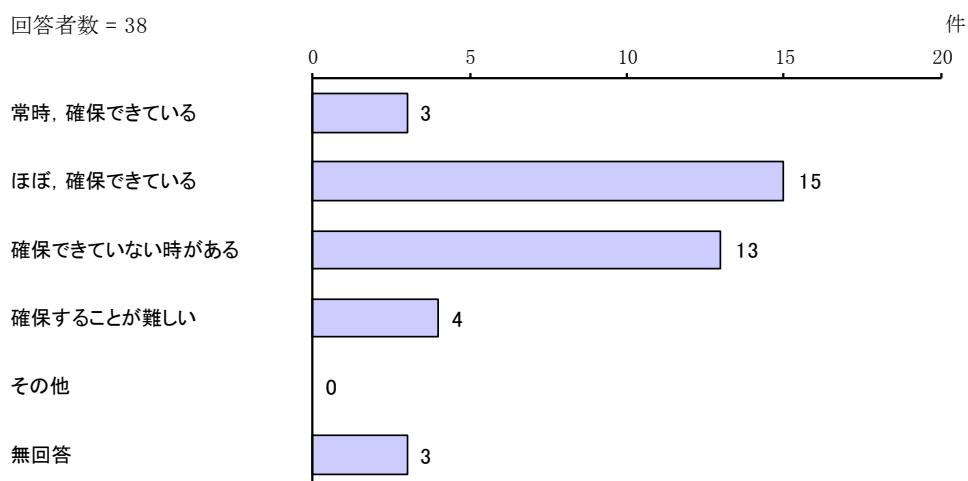
問 8. 事業運営の課題について、どのように考えていますか。(複数回答可)

「職員の確保」が 30 件と最も多く、次いで「利用者・入所（入居）者の確保」が 23 件、「サービス内容の充実」が 18 件となっています。



問 9. 人材確保について、貴事業所は必要とする職員数を常時確保できていますか。(必要とする職員数とは、人員基準に基づく人数だけには限りません)

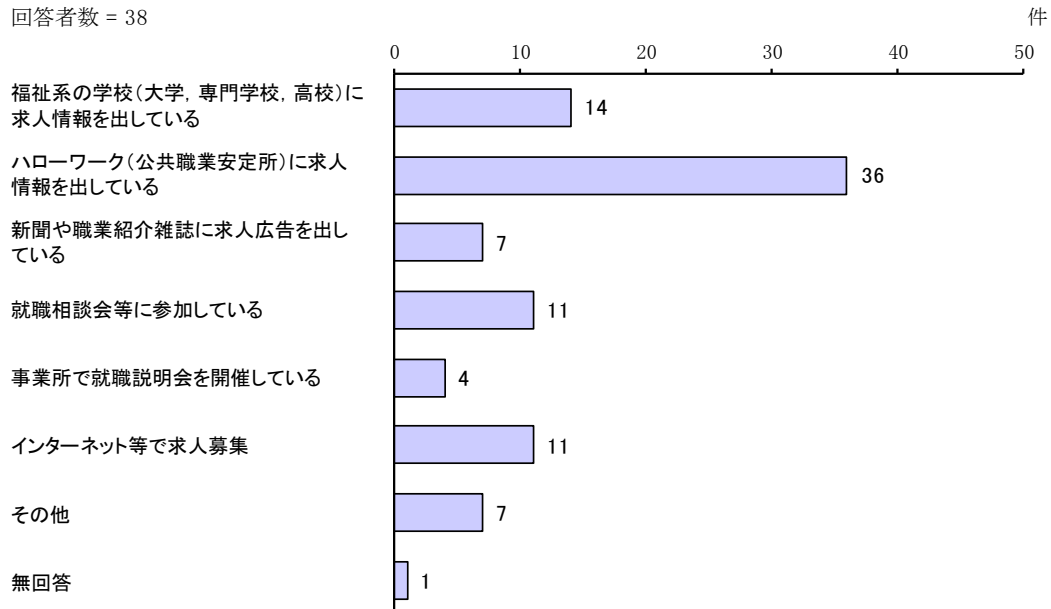
「常時、確保できている」と「ほぼ、確保できている」をあわせた“確保できている”が 18 件、「確保できていない時がある」と「確保することが難しい」をあわせた“確保できていない”が 17 件となっています。



問 10. 職員の確保をどのような方法で行っていますか。(複数回答可)

「ハローワーク（公共職業安定所）に求人情報を出している」が 36 件と最も多く、次いで「福祉系の学校（大学，専門学校，高校）に求人情報を出している」が 14 件，「就職相談会等に参加している」，「インターネット等で求人募集」が 11 件となっています。

回答者数 = 38

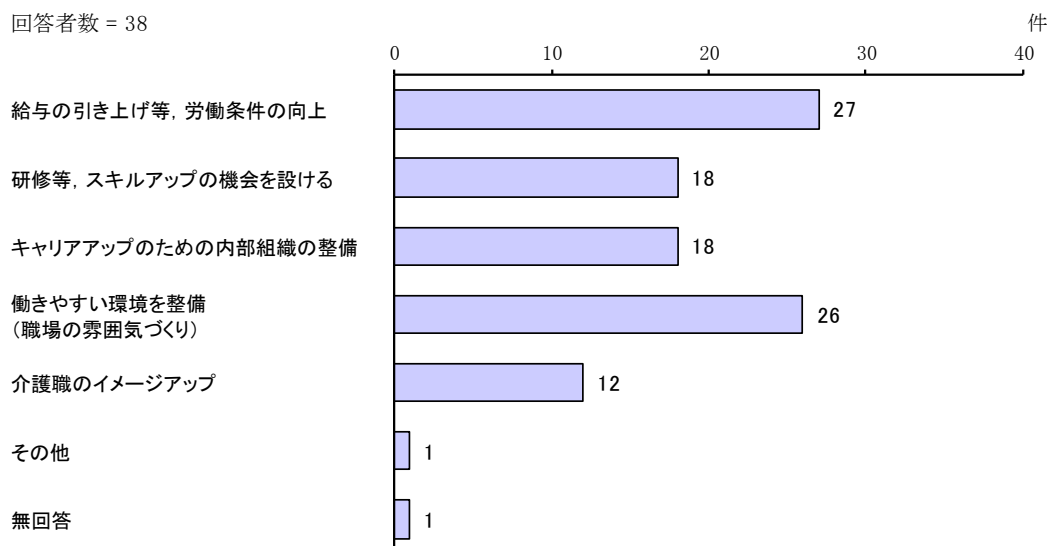


【その他意見】

- ・友人・知人を通じて
- ・外国人材（EPA・特定技能など）
- ・派遣にて
- ・有償紹介会社からの人材紹介
- ・紹介

問 11. 職員が定着するために必要と思われることは何ですか。(複数回答可)

「給与の引き上げ等，労働条件の向上」が 27 件と最も多く，次いで「働きやすい環境を整備（職場の雰囲気づくり）」が 26 件，「研修等，スキルアップの機会を設ける」，「キャリアアップのための内部組織の整備」が 18 件となっています。

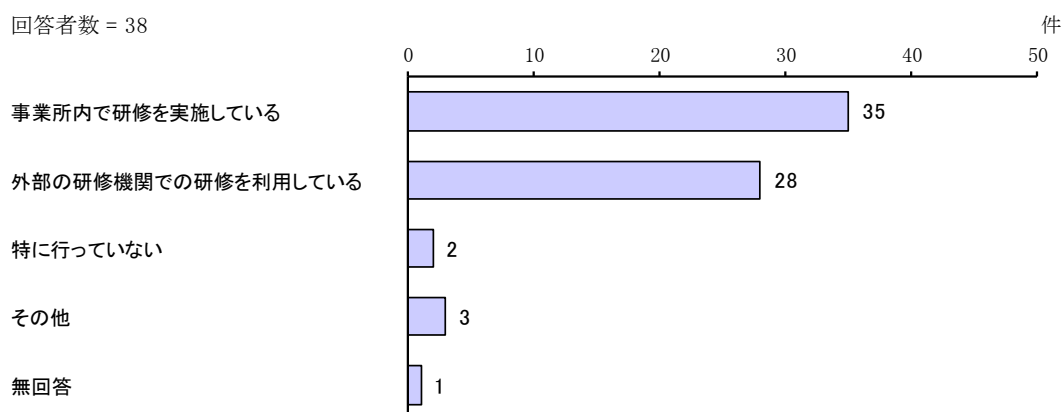


【その他意見】

- ・多様な働き方と職場環境整備

問 12. 職員の資質向上の取り組みとして，研修や資格取得について以下のような取り組みを行っていますか。(複数回答可)

「事業所内で研修を実施している」が 35 件と最も多く，次いで「外部の研修機関での研修を利用している」が 28 件となっています。



【その他意見】

- ・外部講師を招いて国家試験対策の授業を開催している
- ・自己評価【5段階評価】 オムツの検証
- ・外部講師を招いて介護福祉士取得の勉強会を実施している

問 13. 令和元年度中の職員の採用・離職状況を教えてください。
また、令和2年4月1日現在の職員数等について教えてください。

令和元年度の職員の採用・離職状況をたずねたところ、職員数は常勤、非常勤ともに令和元年度から2年度にかけてわずかに減少しています。

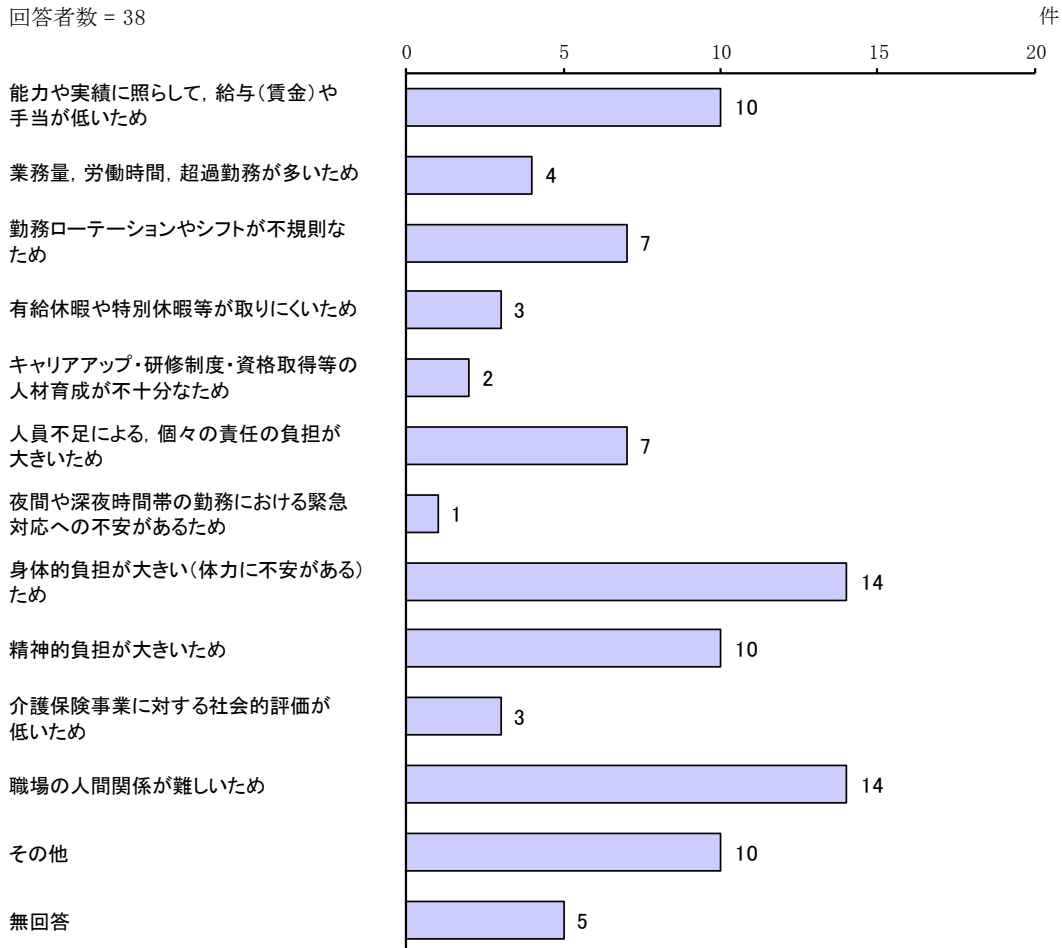
離職者の平均勤続年数については、常勤では2年8か月、非常勤では1年11か月となっており、離職者のうち非常勤の勤続年数が3年未満の人の割合は、77.0%と非常に高くなっています。

		職員数	離職者数	採用者数	職員数		
		平成31年 4月1日 時点	令和元年度中の異動 (4/1~3/31)		令和2年 4月1日 現在	うち、 4月1日 採用者数	外国人 職員数
介護職員	常勤	587人	93人	100人	569人	19人	90人
	非常勤	277人	31人	35人	272人	4人	3人
看護職員	常勤	485人	57人	37人	462人	14人	0人
	非常勤	120人	17人	6人	103人	2人	0人
その他	常勤	585人	51人	53人	609人	33人	7人
	非常勤	155人	26人	9人	138人	4人	0人
合計	常勤	1,657人	201人	190人	1,640人	66人	97人
	非常勤	552人	74人	50人	513人	10人	3人

離職者の 平均勤続年数	常勤	2年8か月	うち勤続3年未満	100人(49.8%)
	非常勤	1年11か月	うち勤続3年未満	57人(77.0%)

離職する理由のうち、主な理由（複数回答）

「身体的負担が大きい（体力に不安がある）ため」、 「職場の人間関係が難しいため」が14件と最も多く、次いで「能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低いため」、 「精神的負担が大きいため」が10件となっています。



【その他意見】

- ・ 家庭の事業
- ・ 外国人の為に、帰国・家庭の都合にての退職
- ・ 高年齢による期間満了の為
- ・ 家族の看病、介護
- ・ 本人都合
- ・ 他にやりたいことがある
- ・ 病気、死亡
- ・ 入職者の社会人としての価値観、モラルの低下
- ・ 仕事に対するスキルが低い
- ・ 家の都合（子どもが小さい）

問 14. 外国人介護職員について、お伺いします。(外国人介護職員を採用している事業所のみ、お答えください。)

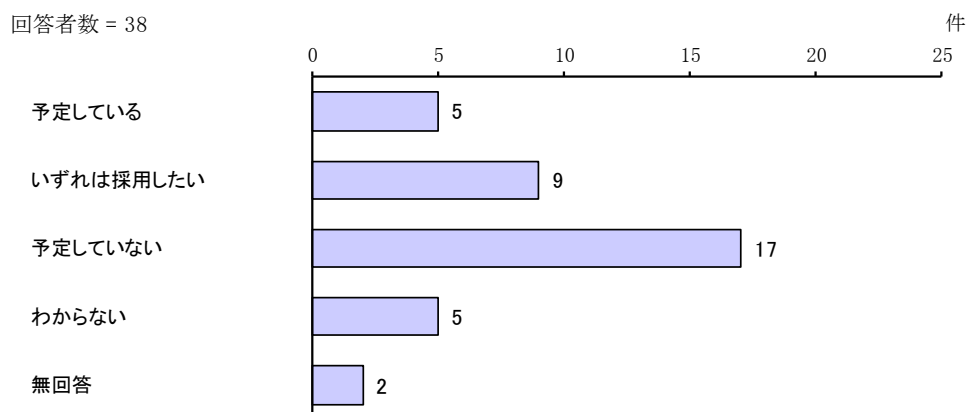
採用している外国人介護職員の受け入れ形態について、教えてください。

8事業者が外国人介護職員を採用しており、「EPA（経済連携協定）」で68人と最も多く、次いで「技能実習生」で16人となっています。

受け入れ形態		人数
1	EPA(経済連携協定)	68人
2	在留資格「介護」	0人
3	技能実習生	16人
4	在留資格「特定技能1号」	1人
5	留学生アルバイト	3人
6	その他	5人
計		93人

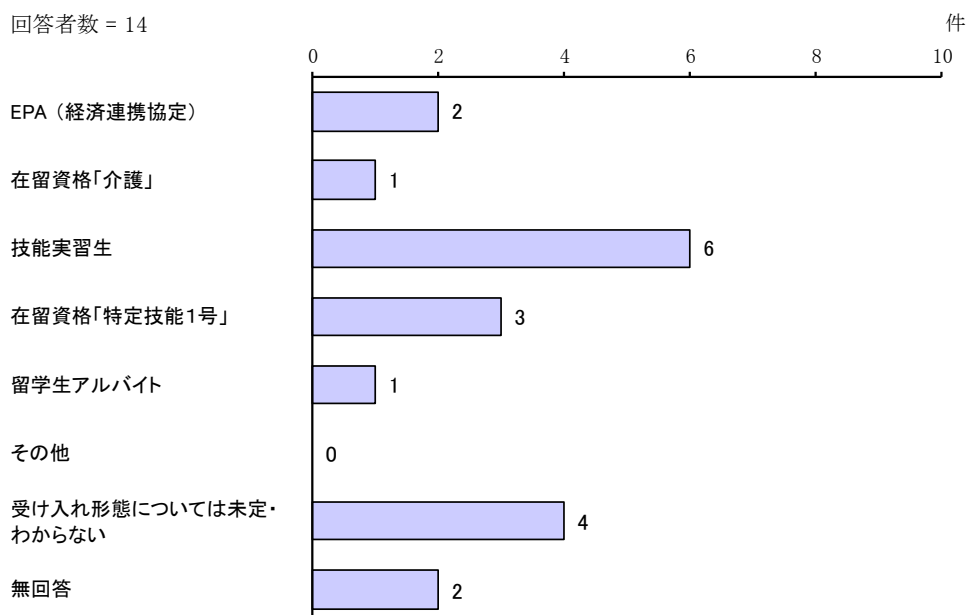
問 15. 今後、外国人介護職員を採用する予定について、教えてください。(全事業所)

「予定していない」が17件と最も多く、次いで「いずれは採用したい」が9件、「予定している」、「わからない」が5件となっています。



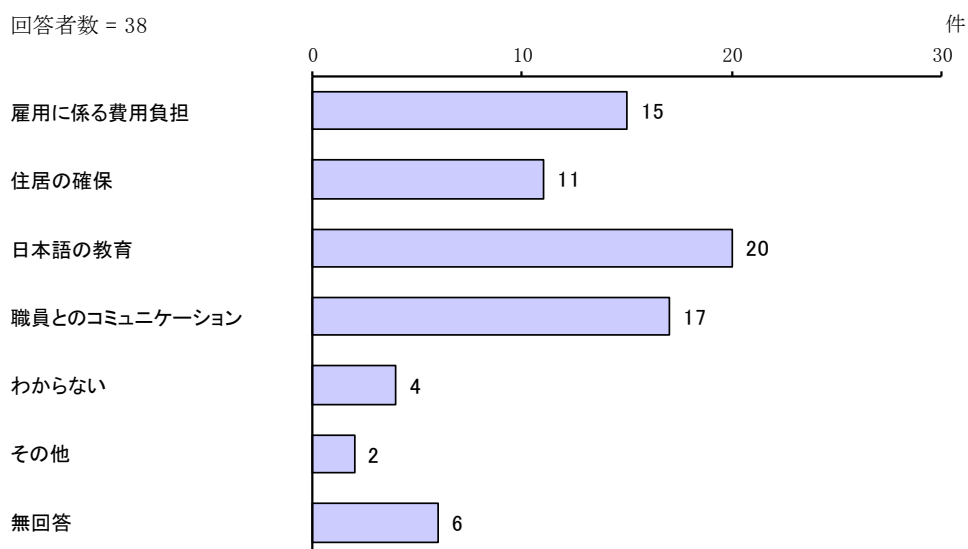
問 16. 問 15 で「予定している」「いずれは採用したい」回答した事業所のみにお伺いします。
採用したい外国人介護職員の受け入れ形態について、教えてください。
(複数回答可)

「技能実習生」が6件と最も多く、次いで「受け入れ形態については未定・わからない」が4件、「在留資格「特定技能1号」」が3件となっています。



問 17. 外国人職員を雇用する上での課題を教えてください。(複数回答可)

「日本語の教育」が20件と最も多く、次いで「職員とのコミュニケーション」が17件、「雇用に係る費用負担」が15件となっています。

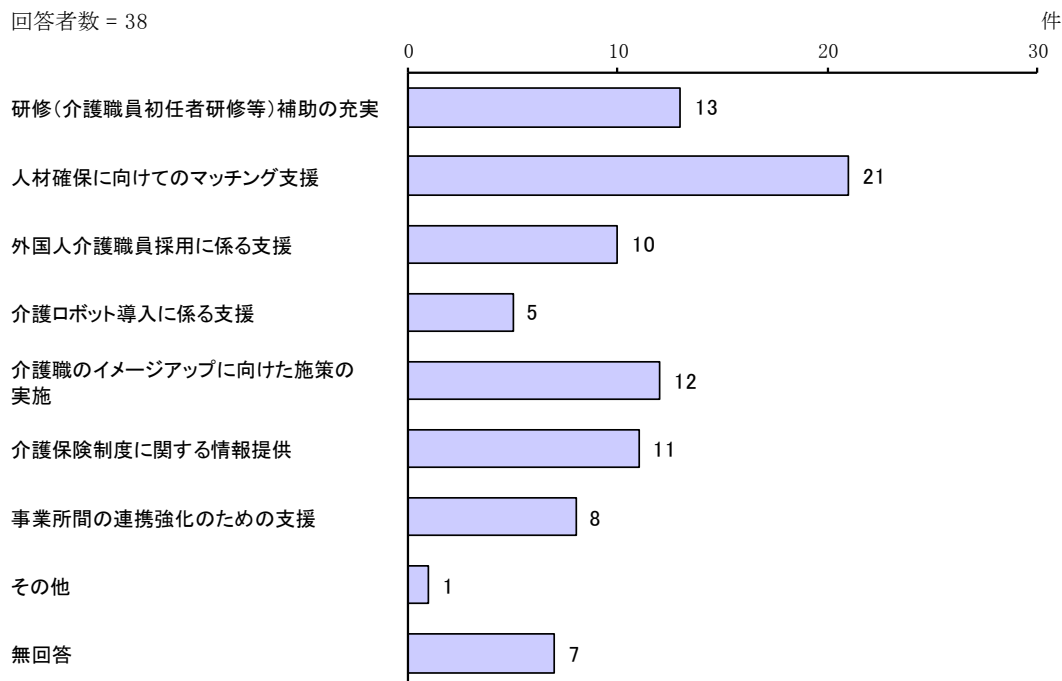


【その他意見】

- ・利用者様とのコミュニケーション・宗教
- ・訪問介護にて地理的、交通手段が困難

問 18. 事業を展開するうえで、国・県・市（行政）の支援が必要と感じることについて、教えてください。なお、「8. その他」を選択した場合は、具体的な内容をお答えください。（複数回答可）

「人材確保に向けてのマッチング支援」が 21 件と最も多く、次いで「研修（介護職員初任者研修等）補助の充実」が 13 件、「介護職のイメージアップに向けた施策の実施」が 12 件となっています。



問 19. 厚生労働省が、介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法、社会福祉法を一体として、「地域共生社会」の実現に向けた取組の推進を図っていますが、このことについてのご意見や、今後、貴事業者において取り組もうとしていることがあれば、お答えください。

・積極的に取り組みたい、前向きに検討したい 12件

No.	事業者	意見
1	宗教法人	福祉として一体的に取り組んでいきたい。
2	医療法人	障がい児・者を対象にした活動を始めている。0歳～100歳以上まで、どのような疾病や障がいがあっても、住み慣れた地域の良い環境で最後まで生活できるサポートすることが目的である。
3	社会福祉法人	近隣地域の抱える課題の把握までは行えていないため、今後も地域との交流機会を継続して行い、情報共有、課題把握に努め、多人事ではなく、我が事丸ごとの地域づくりにつながるよう取り組んでいきたい。また、人と人、人と資源がつながることでより良い地域作りの貢献したい。
4	株式会社	生計困難者に対する相談支援(必要に応じて現物給付による支援を行う)、サービス付き高齢者向け住宅の利用料の軽減(介護度に応じた軽減となっている)を中心に行っている。地域ニーズを把握した上で、更なる取り組みを検討していきたいと考えている。
5	社会福祉法人	今のところ具体的な方針がわからないが、現在は個々で動いているものが一体とした取り組みへの変更の必要性は感じている。
6	社会福祉法人	今後、少子高齢化社会・認知症の増加において多様なケアの在り方が求められてくるだろうと考える。介護保険事務所としてできることに勤めたい。
7	社会福祉法人	地域のニーズを把握した上で、法人でできることを検討していきたいと考えている。
8	社会福祉法人	障がい者の高齢化が進み、介護保険への移行となるが、足りないサービスがあったりする中で、障がいサービスと両方うまく利用しながら地域で生活できればと思う。
9	社会福祉法人	地域や関係機関との連携をより強化していきたいと考えている。
10	医療法人	利用者の自立支援と要介護状態の重度化を防止するため、運動を提供している。介助を必要とするかたが少しでも身体的に自立し、自宅の引きこもりを解消できるよう、地域活動等に参加することで、生き生きとした生活できる様に、サポートができればと考えている。
11	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に高齢や障がいのあるかた、乳幼児と関わる機会があり、地域共生社会において期待されている「つながりの再構築」のモデルとなる状況ができていると考えおり、それぞれにとっても良い効果をもたらせていると感じている。 ・職員の採用については、介護・福祉の専門知識を持つだけでなく、保育士資格や管理栄養士等有資格者の採用も積極的に進め、介護職員としての経験を積んでもらっており、経験を通して幅広い視野を持った人材の育成に繋がっている。また、介護職員として入職した職員を坂出市医師会准看護学院や理学療法士の養成専門学校への進学、資格取得を支援する制度も設けることで准看護師資格・理学療法士資格の取得者を増やし、職種間の連携強化を図っている。これらは厚生労働省から出されている公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換に繋がるものだと考えている。 ・制度内におけるサービス提供の充実を図るために、新たに開設される事業には積極的に取り組むこと、既に実施しているサービスにおいては新たな事業所の開設をめざすこと、そして法人として住み慣れた地域で過ごせる支援を継続することに努めていく。
12	医療法人	病院内での併設施設であり、必要な医療との連携を測れるように考えていこうと思っている。

・現状では難しい 4件

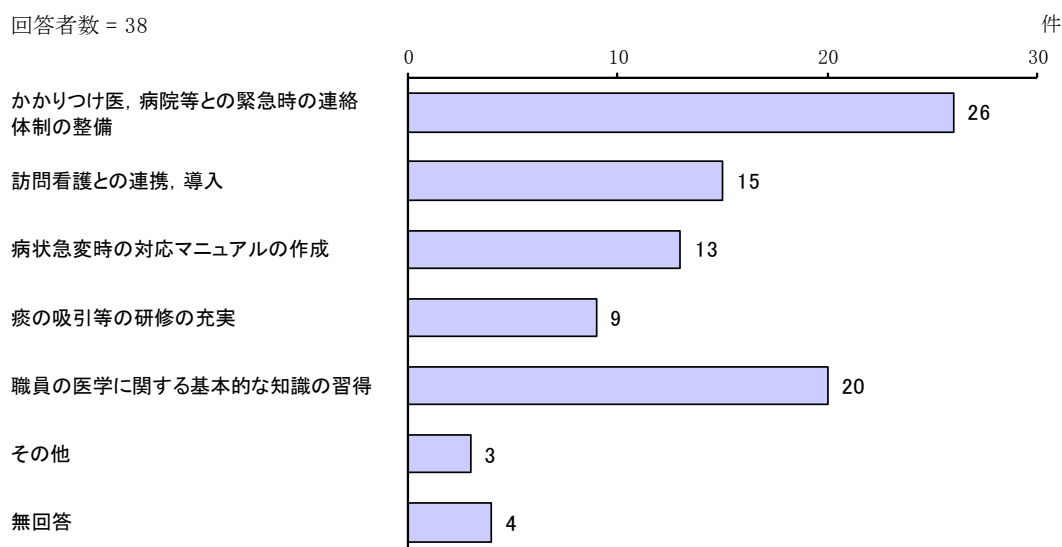
No.	事業者	意見
1	医療法人	「推進」している割には市民の認知度はとても低い。地域共生社会とは何か？何にめざし向かっていかなければならないのか？当面の課題は何か？具体的な発信が必要だし、それがないと事業所としての戦略や課題も見えてこない。
2	有限会社	それぞれの制度がバラバラで、しかも、施設も多様化して複雑。すべての内容を理解し、総合的にサポートしてくれる窓口が必要。実践するには横のつながりが大切(たらい回し状態は厳禁)。
3	その他	絵にかいたもちにならないようにしたいものである。
4	医療法人	高齢者と障がい者の共生は難しいと考えている。

5 医療連携等について

問 20. 医療ニーズがあるかたへの対応について、現在の課題および将来必要な取り組みとして何が重要であると考えますか。(複数回答可)

「かかりつけ医、病院等との緊急時の連絡体制の整備」が 26 件と最も多く、次いで「職員の医学に関する基本的な知識の習得」が 20 件、「訪問看護との連携、導入」が 15 件となっています。

回答者数 = 38



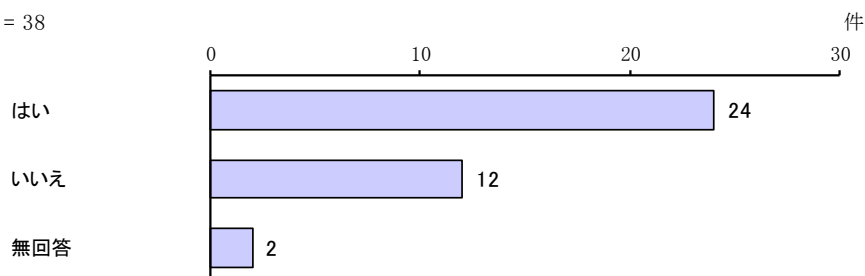
【その他意見】

- ・在宅生活をされているかたの災害時のライフライン確保等
- ・施設において注入や吸引など対応出来るスタッフ看護師の確保

問 21. 地域交流について、貴事業者は地域との交流を図っていますか。

「はい」が 24 件、「いいえ」が 12 件となっています。

回答者数 = 38



問 21-1. (「はい」と回答された場合)

どのように交流していますか。また、地域交流について、取り組んでいることや今後取り組む予定のものがあれば教えてください。

・レクリエーションなどによる交流 19 件

No.	事業者	意見
1	医療法人社団	・近隣中学校の行事への参加。 ・小学校・中学校の体験ボランティアの受け入れ。 ・幼稚園児の訪問受け入れ。
2	社会福祉法人	毎年同系列施設と協同で、幼稚園、中学校の生徒の協力により文化祭を開催し、地域との交流を図っている。
3	株式会社	町内会等に参加している。
4	医療法人	・夏祭り等イベントの実施時に家族等を招待している。 ・地域の仲間づくりに職員を講師(体操等)として派遣している。 ・地元社協が実施している配食弁当を請け負っている。 ・地域交流室にて食事の提供を行っている。
5	社会福祉法人	夏祭り等イベントの実施時に家族等を招待している。
6	社会福祉法人	自治会行事(お祭り等)への参加事業所主催の行事(お祭り等)への地域住民のかたへの周知や参加(ボランティア等含む)。
7	有限会社	・地区民生委員や老人会、自治会他各種団体の会合等への出席。 ・地域で開催されるイベント等に参加し、協力していく。 ・近隣の児童施設の園児との交流(敬老会やクリスマス会)。
8	社会福祉法人	・パザー作品展・各種ボランティア受け入れ・思いやりネットワーク事業として地域のかたを施設に招き、健康体操や作品作り、介護保険等の生活のお役立ち情報を提供し、催し物等を行い、地域交流・親睦を図っている。
9	社会福祉法人	歌のボランティアのかたに来てもらったり、近所のかたに新聞を折ってもらったり、果物や野菜も頂けたりしている。
10	株式会社	自治会などへの場所の提供、子ども会と入居者との交流および災害時の避難場所としての提供。

No.	事業者	意見
11	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、法人で「祭」を開催し、地域の皆様と交流している。 ・年2～3回、講演会を開催。アンケートを基に地域の皆様が必要としている内容・地域の皆様のお役に立つ情報を発信できる機会にしている。 ・週1回、「笑顔の教室」(脳の健康教室)を開催し、参加している皆様同士の交流を通して認知症予防が図れている。(現在は新型コロナウイルス感染防止対策のため、休止。) ・「地域貢献活動」として、地域の自治会・こども会や保育園・幼稚園・小学校で行われる行事の準備や廃品回収・清掃活動にボランティアとして法人の職員が参加している。 ・「地域交流スペース」の開放として、敷地内の屋外の一部(ゲートボールの正式コートを余裕持って3面取れるスペース)を『地域交流広場』として、ケアハウスの一室を『地域交流室』として地域の皆様に提供している。 ・年1回、「ゲートボール大会」を開催し、中讃地域のゲートボールチームが参加。法人内の職員で作ったチームも参加することで交流の機会になっている。 (令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止。)
12	株式会社	地域ボランティア団体(老人会が主体)の発表の場として使用してもらっている。地域の老人大学への出前講座の実施(介護保険制度について、認知症の理解)。
13	株式会社	積極的には行っていないが機会があれば行事に参加する事もある。
14	医療法人	施設や商工会主催の夏祭り等のイベントへの参加。
15	医療法人	毎年、法人の祭りとして、地域のかたとの交流を図っている。
16	医療法人	幼稚園などの児童、声の発表等。
17	医療法人	地元行事への参加・地元文化祭への出展・地域自治会等での講演。
18	医療法人	地域ボランティアとの関わり・行事の際、招待、案内を行う・認知症カフェ開催。
19	株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への参加。 ・地域の各行事への参加。防災訓練なども地域の住民としている。 ・こども会で施設へ訪問し、スタッフや利用者とは交流している。

・相談事業や体験学習 1件

No.	事業者	意見
1	社会福祉法人	医師会に設置されている「医療・介護連携支援センター」との連携を密にし、研修会の参加等で医療関係職種のかたたちとの連携を図っている。

・その他 1件

No.	事業者	意見
1	株式会社	定期的な草刈、施設業事の際、ボランティア要請。

問 21-2. (「いいえ」と回答された場合) 交流していない理由をお答えください。

・時間不足 3件

No.	事業者	意見
1	医療法人	時間が確保できない。
2	有限会社	日々の業務に追われ余裕がない。
3	有限会社	時間不足。

・人材不足 2件

No.	事業者	意見
1	株式会社	休みや人員等の問題で参加予定日の日程が折り合わないため。
2	社会福祉法人	人材不足により、利用者へのサービス提供で精一杯である。

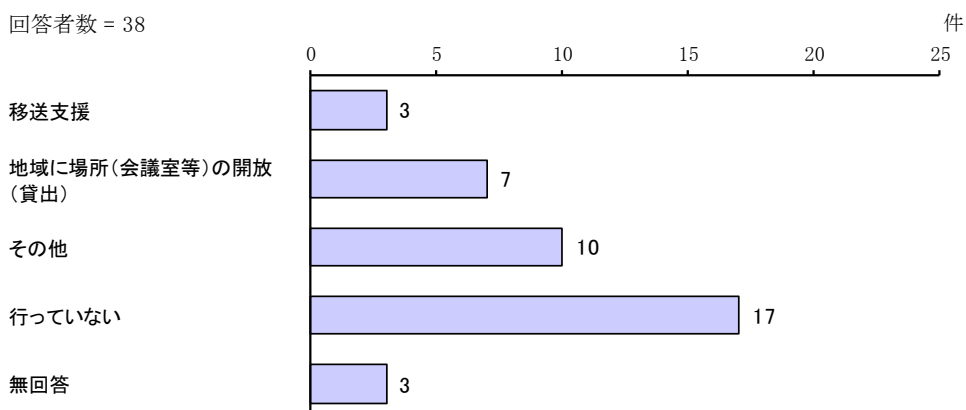
・その他 2件

No.	事業者	意見
1	宗教法人	病院として「ふれあい看護」を題して年1回催し物はあるも、事業所として積極的な取り組みは上記以外、考えていない。
2	株式会社	地域交流の内容が広くて、主に自治会とか公の場が多いため、もっと簡単にボランティアで動けるような情報があればと思う。

問 22. 地域への社会貢献活動を行っていますか。(複数回答可)

「行っていない」が17件と最も多く、次いで「地域に場所(会議室等)の開放(貸出)」が7件となっています。

回答者数 = 38



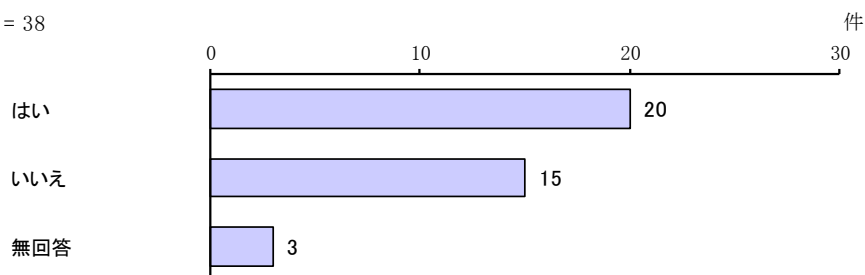
【その他意見】

- ・草かり
- ・安全パトロール
- ・地域交流サークル実施
- ・フードドライブ活動
- ・認知症カフェ
- ・地域清掃活動
- ・災害時の協定等
- ・認知症カフェ

問 23. ボランティアの受け入れを行っていますか。

「はい」が 20 件、「いいえ」が 15 件となっています。

回答者数 = 38



問 23-1. (「はい」と答えた場合)

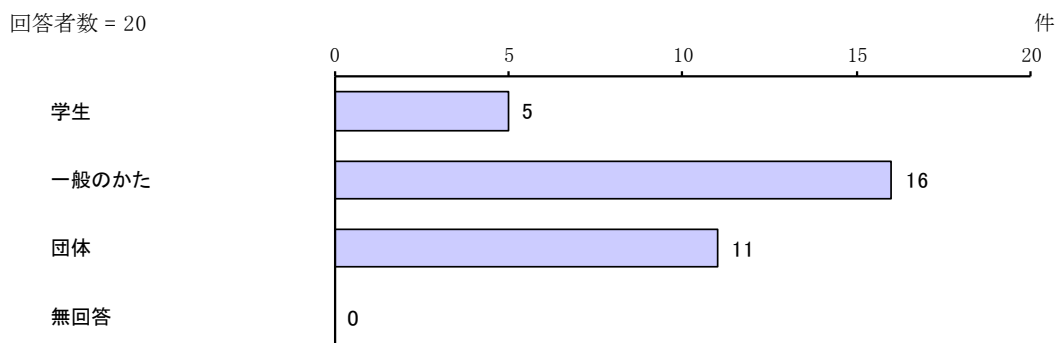
どのような内容のことをお願いしていますか。

・受け入れ内容 14 件

No.	事業者	意見
1	医療法人	文化祭開催時の運営ボランティア, 各種芸能発表, 車椅子清掃 等。
2	社会福祉法人	新入居者歓迎会や季節行事として楽器演奏や踊りなどのボランティアをお願いしている。
3	株式会社	まつりの際の手伝い。
4	宗教法人	笑いヨガ, 読みきかせ 等。
5	その他	話し相手, 手芸等の指導。
6	医療法人	行事等でのお手伝いや催事(演奏や踊り)の依頼。
7	社会福祉法人	食事介助, 喫茶, 入浴時の髪を乾かす等の整容介助, レクリエーション, ごミサ, 話し相手, 歌, 演奏, 踊り, フラワーアレンジメント等の作品作り。バザー販売。
8	有限会社	歌を利用者のかたと一緒にうたって頂いています。
9	社会福祉法人	ご利用いただく皆様への読み聞かせ・歌や演奏ご利用いただく皆様との交流。
10	株式会社	楽器演奏・歌唱(コーラス指導), ダンス(フラダンス等), 紙しばいなど。
11	医療法人	歌や踊り。
12	株式会社	歌などの慰問
13	医療法人	・利用者とのコミュニケーション。 ・利用者のレクリエーションやものづくり活動等における見守り。
14	医療法人	ハーモニカ, 落語, フラダンス, 大正琴, 歌謡ショー, フォークソンググループ。

問 23-2. 受け入れしているボランティアのかたはどのようなかたですか。

「一般のかた」が 16 件と最も多く、次いで「団体」が 11 件、「学生」が 5 件となっています。



6 認知症について

問 24. 認知症のかたに対するサービス提供において、工夫している点などがあればお答えください。

・話し方や接し方の工夫、信頼関係の構築など 21 件

No.	事業者	工夫している点
1	医療法人	メリハリある生活、それぞれの身体状況に応じたケアを提供。本人が楽しく生き甲斐を持って生活できるようレクリエーションの提供や、洗濯物たみ等以前までしていたことを一緒に行うよう援助している。
2	宗教法人	・見守り強化・他利用者よりも多くの声かけ・安心できる環境の提供など、現場レベルでの工夫程度のもの。
3	株式会社	安心して頂ける様な声かけ。なるべく認知症ということのを他の利用者様にわからない様に対応する。
4	その他	気軽に立ち寄って話しができることが口コミで伝わっている。
5	医療法人	通いや泊まりなどのサービス利用に抵抗のあるかたには、先ず、積極的に訪問サービスを行い、信頼関係や馴染み関係を築き、抵抗なくスムーズに通いや泊まりのサービスができるようにしている。また、近隣のかたと連携し密な見守りが行えるよう支援している。
6	社会福祉法人	・ユニットの特性をいかし、家庭的な雰囲気・ゆったり過ごせる空間づくり。 ・アセスメント、インテークの際に、趣味、嗜好、職歴・特技を把握した上で、個別レクリエーションが取り入れやすいようにしている。 ・入所のかたには、使い慣れた家具等持参して頂き、住み慣れた環境に近づけるようにしている。
7	社会福祉法人	利用者の生活歴を含めたアセスメントを十分に行い、利用者の認知症状や ADL にあわせて一人ひとりに合った個別ケアを行っている。利用者の思いや意向をくみとるために、訴えやノンバーバルな訴えに対して、寄りそい・傾聴する姿勢で対応するよう心がけている。
8	有限会社	日常生活をいかに心地良く送る事ができるかを考えて対応できたらと思っている。食事の回数、内容、時間、睡眠の傾向など。重度のかたが多いのでレク等はないが、笑顔が見られるように意識している。

No.	事業者	工夫している点
9	社会福祉法人	出来るだけ相手の行動を否定せず、職員として次にしてほしいことの目的を伝え動いてもらう。
10	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のかたに対してより良いケアができればと考えている。 ・デイサービスセンターとグループホームにおいて、「くもん学習療法」をし、認知症の進行予防に努めている。認知症のかたの認知機能改善・低下防止の効果があるだけでなく、職員の認知症への理解を深めることにも繋がっている。 ・介護老人保健施設においては、専門職による認知症短期集中リハビリの提供を行うことで、認知機能の改善が図れるよう努めている。 ・認知症のかたへのより良いケアの提供のためには、職員が認知症について理解を深めることが最も重要だと考えている。 ・認知症に関する研修の受講が必要不可欠で、研修の受講により職員全員が認知症について理解を深める機会になっていると考えている。
11	社会福祉法人	できないことがあっても、1人の尊厳ある人として、そのままの姿を支える。プライドを傷つけない。
12	株式会社	一人ひとりの利用者に寄りそい、個別のニーズ、問題についてきめ細かな対応を行っている。
13	社会福祉法人	個別化した対応の検討。
14	社会福祉法人	会話中も否定した言葉使いはしないように対応。
15	医療法人	脳トレやペグボード等を用いて認知力低下防止プログラムを立てている。
16	株式会社	1対1で対応せず、必ず家族またはそれに準ずる人に立ち会ってもらう。
17	一般社団法人	その人自身のこと、家族の自尊心を大切に、良い人間関係を作れるように努めている。(まずはそこから心がけている)
18	株式会社	家族との交流支援。タオルたたみなど出来る事はやってもらう。
19	医療法人	必要に応じてOTが行う脳リハを行っている。
20	医療法人	利用時間の調整。利用者に知人がいる場合、同日になるよう利用日の調整。季節感が味わえるよう、対応を工夫している。
21	医療法人	関わり、声かけの工夫。

・職員の知識を深める 3件

No.	事業者	工夫している点
1	社会福祉法人	認知症介護指導者による定期的な内部研修の実施・生活環境の整備(より在宅環境に近いものにする)。
2	株式会社	認知症専門指導者による定期的な内部研修の実施。
3	株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への理解を勉強する。 ・認知症の立場に立って、拒否することなく、理解し、傾聴する。 ・認知のかたのプライドを傷つけないように対応してゆく。

・情報共有 2件

No.	事業者	工夫している点
1	有限会社	関係者との情報の連携。
2	有限会社	関係者家族ともに連携を密にとる。家族了解のもと近所のかたに見守りを図ってもらうなど行っている。

・その他 2件

No.	事業者	工夫している点
1	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の中に軽度の認知症のかたや、服薬の管理が十分できていないかたもおり、施設事務所にて服薬管理もしている。 ・大事なことはメモを取る、貼り紙等をして見やすい所へ貼る等の工夫をしている。
2	医療法人	<ul style="list-style-type: none"> ・日めくりカレンダーを作成し、1F(リハ室)、2F(ホール)、廊下など一日を通して、月、日、曜日、天気分かるように配置している。 ・カレンダーの周りに四季折々の花や風景の写真や絵を貼り、季節感が出るように工夫している。 ・プランターで四季ごとの花や野菜を利用者様と一緒に育てる事により季節を感じている。

問 25. 認知症のかたを支援する上での課題(悩み)などがあればお答えください。

・認知症の症状への対応 12件

No.	事業者	課題
1	医療法人	施設内で生活していると、外部からの刺激も少なくなり、意欲低下が起きることもあり気を付けている。
2	有限会社	ほとんどが通院乗降介助の利用者のため、サービスで関わる時間が短く利用間隔もあくことがあり微妙な変化を感じ取ることが困難。
3	株式会社	言動や表情を見ながら運動指導しているが、実際の所、運動強度の見極め方。
4	その他	多面的な視野を持つことが困難なことが多い。
5	医療法人	独居のかたなど、在宅時(ご自宅で過ごす時)に家族さま等による見守りが手薄となるかたへの支援
6	社会福祉法人	昼夜間断なく施設外へ出たがるなど同じ行動を繰り返すことへの対応。
7	社会福祉法人	コロナ対策のため、家族の面会制限をしており、家族に会えないため不穏になる。
8	社会福祉法人	利用者の自尊心を傷つけないようなコミュニケーションの仕方が大事であるが、介護サービス自体に拒否のあるかたは難しく感じる。
9	株式会社	福祉用具の操作方法、特に禁止事項を何度も説明しても忘れてしまう。
10	医療法人	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に対して、拒否が強いかたへの対応に困っている。 ・暴力や帰宅願望のあるかたへの対応に困っている。
11	医療法人	他者とのトラブル
12	有限会社	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の徘徊(はいかい)。 ・家族の理解度(内服治療を積極的に行わない、病院受診に消極的)。

・ 認知症に対する理解 6件

No.	事業者	課題
1	社会福祉法人	・認知症ケアの知識・経験不足からくる、適切な言葉かけや介護の方法。 ・限られた人員の中でも、ゆとりある関わりが持てるような業務改善・シフト調整。
2	社会福祉法人	利用者家族の認知症へ対する知識や甲斐が少なく、認知症利用状況等の情報が上手く伝わらず、事故等有事の際にトラブルになりかねないという課題がある。
3	社会福祉法人	・認知症のかたに関わるかたの認知症への理解だと考えている。 ・認知症のかたに関わる職員については、研修や日の実務の中での指導・育成により認知症についての理解を深めるようにしている。 ・ご家族のかたや地域のかたを含む、認知症のかたに関わるすべてのかたの認知症への理解を深めることが課題と考えている。
4	社会福祉法人	・施設内・・・年1回(認知症の種類、関わり方) ・施設外・・・香川県主催の認知症初心者・実践者・実践リーダーの研修に積極的に参加している。
5	株式会社	・認知の見分け方がわからない時がある。 ・認知症状か、その人本来の性格からくる認知の上乗せで、症状が悪化してきているものか悩む。 ・認知症専門のDrが少ないため苦慮する。
6	一般社団法人	家族のかたの理解や認識が乏しいことがあり、リスクについての説明をしてもうまく伝わらないケースが多い。

・ 人員不足、時間不足 4件

No.	事業者	課題
1	医療法人	できるだけ、利用様に寄り添い支援をしたいと考えているが(利用はマンツーマン)他の利用者様の支援や他の業務に追われて時間が取れない事。
2	有限会社	認知症のかたの対策は色々なかたがたと協力することができる。介護の質は職員各々が心身のゆとりを持てるかどうかがとても重要だと思う。賃金水準はもちろん重要だが、職員の確保も悩みのひとつである。
3	株式会社	細かい対応を心がけているが、時間的な制約がありまだまだ不十分になっている。
4	医療法人	どうしても納得できない事等あった場合、場所を変えるなどできれば良いが、1人につききりになれず、不満が残る。認知症のかた以外の利用者とのコミュニケーションやトラブル。

・ 他事業所、病院などとの連携 2件

No.	事業者	課題
1	社会福祉法人	・地域全体で支援するための認知症サポーターのかたとの協力体制・相談窓口の充実、特に若者性認知症に対する相談・配慮。
2	株式会社	・認知症サポーターとの協力体制 ・相談窓口の充実、特に若者性認知症に対する相談。

・その他（地域の協力、情報共有など） 1件

No.	事業者	課題
1	宗教法人	<ul style="list-style-type: none"> ・介護料の増加。 ・他の利用者とのトラブル。 ・もっとじっくり携わっていきたいのだが、人材も環境も整っていない中での提供しか出来ず、それでも安心安全に過ごして頂けるよう現場は努力している。 ・治療しながら介護サービスの提供が必要なかたが人生の最終章を生きてきたように死んで行ってもらうために、もっと尊厳を優先できるように介護が提供できるようにするためには、人員の確保と環境整備にはお金が掛かるという報酬に繋がってくる。

問 26. 職員に対し、認知症ケアに関する研修は行っていますか。行っている場合は具体的に研修内容をお答えください。

・施設内での研修 17件

No.	事業者	研修内容
1	有限会社	資料を配布。
2	株式会社	「認知症を予防する街づくりをめざして」
3	その他	認知症予防の脳活ゲームの前がきや、認知症に関する専門書および文献の読み合わせ。
4	社会福祉法人	認知症の理解と基本的な対応方法・権利擁護・認知症の人への介護技術
5	株式会社	認知症の理解と基本的な対応方法・権利擁護・認知症の人への介護技術
6	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアマニュアルを作成し、各階へ配布。いつでも閲覧可能。 ・令和2年8月 職員全体会議にて研修を行った。研修内容は「認知症ケアの基本」をテーマに職員の認知症ケア経験を踏まえて説明、発表した。
7	有限会社	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修はできていない。職員の有休消化や休日を考えると難しいのが理由。 ・施設内では利用者の課題をアンケートもしくは少人数のチームで考え、より多くのアイデアや意見を出す取り組みをしている。
8	社会福祉法人	職員の認知症研修会への参加。
9	社会福祉法人	<p>職員に対して、認知症ケアに関する研修を行っている。</p> <p>【法人内で開催する研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所単位で行う認知症研修「認知症の理解」 「日々の業務から学ぶ、認知症のかたへの対応」 <p>【法人外で開催される研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年各事業所より対象となる職員を選出し、認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)に申込、受講している。 <p>認知症介護実践研修では自施設での実習があることから、受講者本人だけでなく、事業所の職員全員が研修に参加している状況になっており、良い効果が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症をテーマにした講演会・研修会への参加。
10	社会福祉法人	認知症の理解。
11	株式会社	認知症ケア専門士により、認知症の中核症状と PTSD の違い、具体的なケアの方法、個別のケースに対するディスカッションなど。

No.	事業者	研修内容
12	社会福祉法人	年に1回、外部講師を招いて研修を実施している。
13	医療法人	行っている(内部研修)。
14	株式会社	・研修はしては無く、毎日、電話、ラインによる情報交換をしている。出来るだけ、スタッフにわかりやすく認知症対応時の助言を行っている。 ・担当するケアマネにも情報を流し、利用者との対応を共有している。
15	株式会社	独自のマニュアルを作成し、不定期ではあるが研修会を行っている。
16	医療法人	レクリエーション、アクティビティ研修。
17	有限会社	認知症ケア、内部研修を行っている(内部の講師)。

・施設外での研修 2件

No.	事業者	研修内容
1	宗教法人	外部の認知症に関する研修に参加。市、認知症学会主催のものなど。
2	一般社団法人	・医師会主催の認知症をテーマとする他職種研修会、ACP 研修会への参加・外部研修開催の案内あれば積極的に参加。

・施設内、外両方での研修 6件

No.	事業者	研修内容
1	医療法人	外部研修として実践研修(実践者研修)へ毎年職員参加している。施設内研修として認知症に関する研修、身体拘束や虐待防止等毎月テーマを決めて職員研修を行っている。
2	株式会社	内部研修・外部研修を定期的に行っている。
3	医療法人	外部研修(認知症実践者研修等)への参加。外部研修→内部研修への落とし込みなど。
4	医療法人	毎年、職員を選定し県の認知症介護実践研修を受講してもらっている。研修中研修後施策内研修を実施、その他の外部研修に参加した時は、その都度、施設内研修を実施している。
5	社会福祉法人	外部研修(認知症介護実践研修・コミュニケーション能力向上研修・認知症高齢者、ターミナルケア研修等)に参加し、研修で学んだ事を、施設内研修にて施設職員内で学びの共有を行っている。
6	医療法人	・定期的に内部研修を行うとともに、外部研修にも参加させている。 ・研修方法は主に部署毎に行うケースが多く、内容的には認知症がどんな病気なのか、どのように接すればよいのか等々。

問 27. 今後、認知症のかたを対象とした施策や取り組みの考えなどがあればお答えください。(例：見守り支援，つながり支援，配食などの多様な生活支援)

・ 認知症の症状への対応 11 件

No.	事業者	課題
1	株式会社	病気の進行を遅らすことができる様、色々なかたとお話ししたり、トレーニングや脳トレを積極的に行って頂くサポートを今後も取り組む。
2	その他	まずは傾聴から充分時間をかけて行っていきたい。
3	社会福祉法人	・すでに実施している配食サービス等の継続・充実・困った時の相談できる場となりうるための取り組み。
4	株式会社	困った時の相談できる場となりうるための取り組み。
5	医療法人	(運営推進会議等活用し)地域のかたで介護サービス等の支援が必要なかたなどの情報提供や共有、介護保険サービスの説明、申請などのお手伝い。
6	社会福祉法人	・個々の生活リズム・趣味・嗜好を細かく把握(24時間シートの作成)。 ・「県の認知症介護基礎研修」や行政からの外部研修等に積極的に参加し、後日、参加者から報告、発表等で周知できる体制づくり。
7	社会福祉法人	・脳の健康教室の開講。 ・社会参加支援(地域の皆様同士の交流支援)。 ・孤立・孤独の解消・軽度の認知症のかたの活躍できる場の提供(認知症の進行予防)。 ・定期健診の中に認知症診断を追加(認知症の早期発見・早期対応・進行予防)。 ・小学校の授業(科目:生活や道徳)などに認知症に関するものを取り入れる(認知症のかたを取り巻く環境の改善:認知症への理解を深め、認知症のかたが過ごしやすい環境を作るため)。 ・認知症カフェの実施事業者の増加(認知症のかたの参加できる場の増加・認知症への理解促進)。 ・認知症サポーターの養成の継続(認知症の理解をしている人を増やすことで、認知症のかたが過ごしやすい環境を作る)。 ・安否確認支援(地域のかたを中としたネットワークの構築)。
8	株式会社	・つながり支援などは支援内容が幅広すぎて、簡単な内容提示が欲しい。 ・配食に関しては、自宅で作ったお弁当などを配達してもいいのか、単なるお弁当を買ってきて配達するのか?お金の受け渡しはどうするのか。
9	株式会社	福祉用具や IC 技術を使った見守り支援。
10	株式会社	見守りや配食などの支援は出来ればいいと思っている。
11	医療法人	・服薬支援・見守り支援・慰問、ボランティア支援・つながり支援。

・認知症に対する理解 3件

No.	事業者	課題
1	医療法人	認知症に関する研修への参加。併設デイケアと連携して認知症のある利用者へのつながり支援をふかめていく。
2	社会福祉法人	・今後も認知症介護実践リーダー研修、認知症実介護実践研修に参加し、認知症のかたにより良く対応できる施設としての介護サービス基盤整備、介護人材確保、介護従事者の認知症対応力向上の促進につとめる。 ・デイサービス利用されている認知症のかた、1人暮らしのかたを対象に弁当の販売提供を行っており今後も継続していく。
3	株式会社	独居の認知症者の見守り支援、認知症家族の認知症への理解を深めるような対応。

・人員不足、時間不足 1件

No.	事業者	課題
1	有限会社	施設内で手一杯。

・他事業所、病院などとの連携 1件

No.	事業者	課題
1	社会福祉法人	民生委員や地域ボランティアと連携した見守り支援。

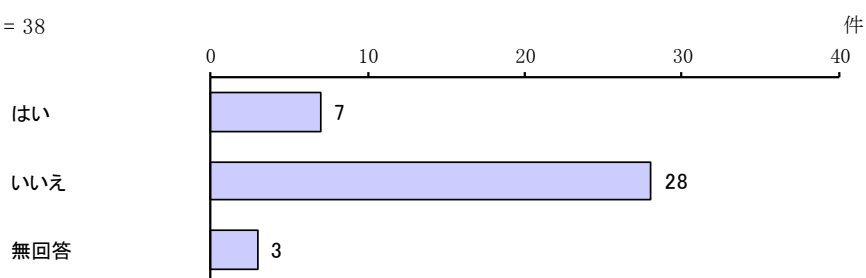
・その他（地域の協力、情報共有など） 2件

No.	事業者	課題
1	宗教法人	検討中。
2	医療法人	利用前に家族、本人様に施設見学をすすめている。(今はコロナで中止している)説明だけの見学や午前中利用見学(送迎)、午前午後利用見学(食事・送迎有り)など、個別に対応している。見学することにより、スムーズに利用に繋がるケースが多い。一人暮らしで身寄りのない利用者は、地域包括支援センターや CM、他の施設等と連携して見守り支援を行っています。

問 28. 認知症カフェを開設していますか。

「はい」が7件、「いいえ」が28件となっています。

回答者数 = 38



問 28-1. (「はい」と回答された場合)

カフェ運営の問題点やあり方等についてお答えください。

・カフェ運営の問題点やあり方 7件

No.	事業者	課題
1	その他	深層心理までなかなか立ち入れない。
2	社会福祉法人	・参加するかたの人数が少なく、参加するかたのほとんどが法人内サービス利用のかたとなっている。(住宅地等から離れているため、法人内サービスご利用のかた以外は車で移動が必要な状況もあり参加できるかたが少ない状況。) ・新型コロナウイルス感染防止のため、以前に比べて参加するかた同士の交流が図りにくい状況となっている。
3	社会福祉法人	新型コロナウイルス感染症蔓延防止策として、開催を中断している。マスクを外しての会食・会話が種となる取組であり、再開のタイミング判断が難しい。
4	株式会社	・家族の悩みを聞いて欲しいと聞いたことがある。 ・認知症状にも軽度、重度等のばらつきがあり、対応は難しいかなと思う。
5	医療法人	・設置場所(病院4F)が立ち寄りにくい。
6	医療法人	利用者が固定される。内容のマンネリ化。
7	医療法人	・時間外で手伝ってくれるスタッフの確保。 ・場所の提供。 ・あまり認知されていない。 ・人が来ない。

7 新型コロナウイルス感染症について

問 29. 新型コロナウイルス感染症への対応をきっかけに、今後、取り組む事業や計画(検討を含む)があればお答えください。

・新型コロナウイルス感染症への対応 18件

No.	事業者	対応
1	医療法人	感染症防止のための面会規制や面会の実施方法等検討。 感染症防止のため職員研修の実施。 感染発生時の対応についての体制を整える。
2	社会福祉法人	新型コロナで通年の行事等も中止となってきている。今後の状況を見ながら、通年どおり行えるものを検討してゆく。
3	有限会社	当面は感染予防の徹底などで業務に取り組みますが、事業への影響は甚大で新型コロナウイルスの収束にはかなり時間を要することも予想されているため、短・中期的な計画も手探り状態です。場合によっては事業方針の大きな方向転換も考えられます。
4	株式会社	在宅トレーニングの提供について検討中です。
5	その他	テレビ会議やリモート会議の導入を考えるが、高齢者にはかなり困難である。
6	社会福祉法人	感染予防対策の見直し(職員への教育指導)。
7	株式会社	感染予防対策の見直し(職員への教育指導)。

No.	事業者	対応
8	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの入所者は基礎疾患があり、感染すると重篤化する可能性が高く、少なからず集団生活を送るため、日々行政から発出される情報などを根拠に、ウイルスを「持ち込まない、拡げない」ための対策を強化。 ・感染拡大防止のため、オゾン発生装置等設備導入を検討する。また、防護服やマスク・使い捨て手袋・フェイスシールド・消毒液の備蓄管理を徹底する。 ・感染症予防の観点から、日常生活を制限せざるを得ない状況から、入所者・職員のストレスを軽減する取り組み。 ・感染症対策委員を中心に、臨時の委員会を開催するなど、臨機応変な対応を図り、職員一人ひとりが、専門職としての意識を高める。
9	社会福祉法人	<p>新型コロナウイルス感染症への対応にて感染症対策はもとより、特養施設運営に関わるほとんどの事項において新しい生活様式に合わせた対応へと変わっている。施設体制を感染症対策の徹底を大前提とした新しい生活様式に合ったものに変えた上で、今後有事の際の応援体制やネットワークの構築を行って行けるよう検討している。</p>
10	有限会社	<p>ケアマネジャーには、ケアプラン作成業務を自宅で行ってもらっている。</p>
11	社会福祉法人	<p>施設の入居者と家族がリモートで面会出来るようなサービスを検討している。</p>
12	社会福祉法人	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン介護相談 <p>新型コロナウイルス感染防止対策として、香川県の警戒レベル等合わせて対応方法等纏め一覧にした新型コロナウイルス感染症ロードマップを法人で作成している。ロードマップに基づき入所施設等の面会制限等レベルに合わせた対応を行っている。</p> <p>面会制限時においても、入所サービスを利用しているかた家族との面会ができるようオンライン面会ができるようにしている。この仕組みを活用してオンラインによる介護相談等への対応をすることで、地域の皆様からの相談が受けられるようになればと考えている。</p>
13	社会福祉法人	<p>オンライン面会の実施。</p>
14	社会福祉法人	<p>新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策</p> <p>* 発症者が施設に発生した場合、いかに、軽症化させたり、クラスターを最小化することができるかなど。</p>
15	社会福祉法人	<p>簡易な職員対応マニュアルは作成したが、より細かなマニュアルの作成が必要であり、利用者、職員の双方を守らなければならない。</p>
16	医療法人	<p>人員不足解消のため、学生ボランティアによる短時間労働の受け入れを検討中。</p>
17	一般社団法人	<p>コロナ禍の今こそ、ACP への取り組みについて研修会等実施</p>
18	有限会社	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの導入・事務所の感染対策強化

Ⅲ その他団体ヒアリング結果

1 団体の概要について

日ごろ活動を行っているメンバーは何人ですか。(令和2年8月1日現在)(1つに○)

事業者	回答
婦人団体連絡協議会	100人以上
連合自治会	30～49人
老人クラブ	30～49人

日ごろ活動を行っているメンバーの年齢層は何歳代が中心ですか。
(最も多い年代1つに○)

事業者	回答
シルバー人材センター	70歳代
地区社会福祉協議会 連絡協議会	70歳代
特定非営利活動法人	70歳代
婦人団体連絡協議会	60歳代
連合自治会	70歳代
老人クラブ	70歳代

団体・組織は、活動を始めてから通算でどれくらいになりますか。(1つに○)

事業者	回答
婦人団体連絡協議会	30年以上
連合自治会	30年以上

2 活動概要について

どのような活動を行っていますか。(すべてに○)

事業者	回答
地区社会福祉協議会 連絡協議会	・見守り, 声かけ ・定期的な通いの場 ・健康づくり活動
民生児童委員協議会 連合会	・見守り, 声かけ ・定期的な通いの場 ・健康づくり活動
婦人団体連絡協議会	・見守り, 声かけ ・健康づくり活動 ・防犯・交通安全活動
老人クラブ	・見守り, 声かけ ・健康づくり活動, ・防犯・交通安全活動
連合自治会	・見守り, 声かけ ・健康づくり活動, ・防犯・交通安全活動

日ごろ活動を行っているメンバー等について、サービス内容ごとにお答えください。
登録者数は令和2年3月31日時点の人数で、実績者数は、令和元年度（年間）でお答えください。

①シルバー人材センター

サービス内容	登録者数 (令和2年3月31日時点)	実績者数 令和元年度(年間)
剪定	30名	29名
除草	40名	39名
管理	323名	202名

②特定非営利活動法人

サービス内容	登録者数 (令和2年3月31日時点)	実績者数 令和元年度(年間)
給食サービス, 配食, 安否確認	27名	27名
日常生活支援(掃除, 送迎, 草取り等)	10名	10名
老人福祉施設での朝食盛付け, 配膳	17名	17名
老人福祉施設での環境整備	12名	12名
老人福祉施設での会話(傾聴)	9名	9名
地域支え合い助け合い(8地区)	27名	27名
声かけ, 見守り	33名	33名

3 現在の状況・課題について

活動を行う上で困っていることはありますか。(すべてに○)

事業者	回答
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが高齢化している。 ・活動のための資金の確保が難しい。
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・体力的な負担が大きい。 ・メンバー・職員が高齢化している。
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが高齢化している。 ・後継者が育たない。 ・活動内容の情報発信が十分できていない。 ・その他(自治会非加入世帯の増加による組織率の低下)。
特定非営利活動法人	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー・職員が高齢化している。 ・後継者が育たない。 ・同じ分野・活動内容の個人・団体とのネットワークがない。 ・地域の情報が得にくい。
婦人団体連絡協議会	メンバーが高齢化している, 後継者が育たない
民生児童委員協議会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーが高齢化している。 ・後継者が育たない。 ・活動内容の情報発信が十分できていない。 ・その他(短い任期で退任されるかたが多い)。
連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的な負担が大きい。 ・メンバーが高齢化している。 ・後継者が育たない。 ・地域の情報が得にくい。
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・体力的な負担が大きい。 ・一緒に活動するメンバーが少ない, 不足している。 ・メンバーが高齢化している。 ・後継者が育たない。 ・活動のための資金の確保が難しい。 ・異なる分野・活動内容の個人・団体とのネットワークがない。 ・地域の情報が得にくい。 ・専門知識が不足している。 ・活動内容の情報発信が十分できていない。

活動を行う上で困っていることに対し、どのように工夫していますか。(すべてに○)

事業者	回答
シルバー人材センター	ホームページやフェイスブックなどで情報を発信している。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・行政などの各種補助金を活用している。 ・個人や他団体と交流を持ち、参考にしている。 ・行政による研修会などへの参加により、関係する情報を得ている。 ・ホームページやフェイスブックなどで情報を発信している。
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・その他(関係団体との連携を強化)。
特定非営利活動法人	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等をやめるなど、活動内容を縮小している。
婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・団体・組織への勧誘のためのPR活動をしている。 ・行政などの各種補助金を活用している。 ・個人や他団体と交流を持ち、参考にしている。 ・行政による研修会などへの参加により、関係する情報を得ている。
民生児童委員協議会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や他団体と交流を持ち、参考にしている。 ・行政による研修会などへの参加により、関係する情報を得ている。
連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な会合を減らしている。 ・行事等をやめるなど、活動内容を縮小している。 ・団体・組織への勧誘のためのPR活動をしている。 ・個人や他団体と交流を持ち、参考にしている。 ・行政による研修会などへの参加により、関係する情報を得ている。
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・団体・組織への勧誘のためのPR活動をしている。 ・地域活動(交流も含む)の拠点を整備している。 ・行政などの各種補助金を活用している。

4 今後の方向性について

今後、高齢者の活躍の場・自己実現の場の拡充についてどのように考えていますか。
(1つに○)

事業者	回答
老人クラブ	拡充を検討中
連合自治会	拡充を検討中
地区社会福祉協議会 連絡協議会	拡充を検討中

活動の担い手を増やす工夫として、貴団体が現在していることはありますか。
(すべてに○)

事業者	回答
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・会報・チラシなどを通じて活動を知らせる ・イベントなどを行い、呼びかける ・知り合いを増やし、声かけをする ・関心のありそうな人に声かけをする
連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、講演会などで呼びかける ・会報・チラシなどを通じて活動を知らせる ・知り合いを増やし、声かけをする ・関心のありそうな人に声かけをする ・市の広報やインターネットなどを活用して呼びかける
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いを増やし、声かけをする ・関心のありそうな人に声かけをする ・仕事を退職した人に声かけをする
婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、講演会などで呼びかける ・会報・チラシなどを通じて活動を知らせる ・イベントなどを行い、呼びかける ・知り合いを増やし、声かけをする ・関心のありそうな人に声かけをする
民生児童委員協議会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・関心のありそうな人に声かけをする ・仕事を退職した人に声かけをする

5 他のボランティア団体等との連携について

現在、他のボランティア団体等との連携体制はとれていますか。(1つに○)
とれている場合、どのような内容ですか。

事業者	回答
社会福祉協議会	どちらかといえばとれている
地区社会福祉協議会 連絡協議会	どちらかといえばとれていない
婦人団体連絡協議会	どちらかといえばとれている
民生児童委員協議会 連合会	とれていない
連合自治会	どちらかといえばとれている
老人クラブ	とれていない

今後、他のボランティア団体等との連携体制が必要ですか。(すべてに○)

事業者	回答
社会福祉協議会	絶対に必要
地区社会福祉協議会連絡協議会	どちらかといえば必要
婦人団体連絡協議会	絶対に必要
民生児童委員協議会連合会	どちらかといえば必要
連合自治会	絶対に必要
老人クラブ	どちらかといえば必要

貴団体と他のボランティア団体等との連携について、問題点や課題点をご記入ください。

事業者	回答
社会福祉協議会	市内全ての団体と密に連携が取れているとはいえないため、今後の課題となっている。ボランティア団体が行っている活動について把握できていない部分もあり、情報の共有が十分でない。
婦人団体連絡協議会	男性が加わってほしいのと高齢化。
連合自治会	それぞれの団体指導者が忙しすぎる。

6 坂出市との連携状況と課題について

現在、坂出市との連携体制はとれていますか。(1つに○)

事業者	回答
社会福祉協議会	十分とれている
シルバー人材センター	十分とれている
地区社会福祉協議会連絡協議会	どちらかといえばとれている
特定非営利活動法人	十分とれている
婦人団体連絡協議会	十分とれている
民生児童委員協議会連合会	十分とれている
連合自治会	どちらかといえばとれている
老人クラブ	十分とれている

貴団体における坂出市との連携について、問題点や課題点は何かあると考えますか。
(すべてに○)

事業者	回答
老人クラブ	その他(毎年1回の理事会に、市、市社協に必ず出席していただき、十分に連携は取れていると思います)。
シルバー人材センター	活動の経費負担の取り決めが不明確。
連合自治会	・活動の役割・内容や目標の取り決めが不明確 ・個人情報の取扱(要支援者、被災者情報など) ・庁内の他部局における連携の重要性の未理解
社会福祉協議会	・個人情報の取扱(要支援者、被災者情報など)
民生児童委員協議会 連合会	・個人情報の取扱(要支援者、被災者情報など)
地区社会福祉協議会 連絡協議会	・個人情報の取扱(要支援者、被災者情報など) ・その他(各々の事業(活動)に対する相互理解が不十分)

7 新型コロナウイルス感染症について

貴団体においてコロナ禍の中で、感染症対策や活動等で困ったことはありますか。

事業者	回答
社会福祉協議会	感染症予防のための消耗品(アルコール、体温計等)の確保。
シルバー人材センター	60歳以上の高齢会員が就業しており、本人または家族からの意見で、屋内での仕事を停止した会員がいた。
地区社会福祉協議会 連絡協議会	・高齢者対象の活動が多く、感染の場合の重症化リスクが懸念される。 ・つながりづくりのため行事等には多数参加してほしいが、感染リスクを考えると開催が困難・活動縮によるニーズの潜在化、孤立感の増大。 ・活動する側のモチベーションの低下。
婦人団体連絡協議会	事務的業務としての出張所等が規制があり、思うように場をもてない。他の団体との関わりの中で、いろいろな活動をしているのか。すべてできていない。四月に総会がもてず、しまりのないスタートになった。
民生児童委員協議会 連合会	・コロナの影響で自宅への訪問が積極的に行えない中で、どのように見守り活動を行うかは個人の判断に任せている部分があるため、活動内容にバラつきがでている。 ・各種研修会の中止が続いており、学びの場や委員同士の交流の場が減っている。
連合自治会	ほとんどの団体が活動停止状態になっており国の指針に基づき対応を行っている。
老人クラブ	老人大学開催での各地区老人いこいの家等の人数制限があり、4月～9月までは、各地区とも開催できていない。

with コロナと言われる中で、フレイル予防や在宅介護等をすすめていくために、今後、取り組む事業や計画（検討を含む）があればお答えください。

事業者	回答
社会福祉協議会	フレイル予防に繋がる地域の活動が持続できるように支援していく。
シルバー人材センター	予防対策として、予防接種等の対応が確立できたら就業も可能である。在宅介護等の就業については、高齢者が対応できる小さなお手伝いの仕事を炙り出すことが必要と考えている。
地区社会福祉協議会 連絡協議会	・地区全体ではなく、より身近な地域(小地域)での活動の強化。
連合自治会	高齢者は現在、閉じこもり状態となっており、近所との付き合いもほとんどなく、情報が少なくなっており、情報の提供が必要。
老人クラブ	老人会では別に考えていない。

8 坂出市に対する要望等

今後、坂出市と連携を行って行きたい内容は何か。（すべてに○）

事業者	回答
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービス(介護・福祉タクシー等) ・健康づくり活動 ・その他(災害時の住民支援体制の構築(災害ボランティアセンター))
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・外出同行(通院、買い物など) ・見守り、声かけ ・炊事・洗濯などの家事援助 ・その他(軽作業として、電球の交換、玄米の精米等の作業など)
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ ・定期的な通いの場 ・健康づくり活動 ・その他(地域活動の必要性についての啓発)
特定非営利活動法人	<ul style="list-style-type: none"> ・外出同行(通院、買い物など) ・移送サービス(介護・福祉タクシー等) ・炊事・洗濯などの家事援助
婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ ・健康づくり活動 ・防犯・交通安全活動
民生児童委員協議会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ ・定期的な通いの場
連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ ・定期的な通いの場 ・健康づくり活動 ・防犯・交通安全活動
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ ・健康づくり活動 ・防犯・交通安全活動

坂出市が行ってほしい活動内容は何か。(すべてに○)

事業者	回答
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報の発信・交換 ・災害時の要援護者支援
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用 ・地域情報の発信・交換
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや福祉に関する教育・体験 ・ボランティア団体やNPO等への支援体制の拡充 ・生涯学習の推進, サークル活動の支援 ・サービスの受け手に対して, ボランティア活動の理解を深める ・成年後見制度利用支援や見守り体制の充実 ・その他(フォーマルサービスとインフォーマルサービスの連携強化)
特定非営利活動法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体やNPO等への支援体制の拡充
婦人団体連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・既存組織のネットワーク化 ・地域資源の活用 ・ボランティアや福祉に関する教育・体験 ・生涯学習の推進, サークル活動の支援 ・成年後見制度利用支援や見守り体制の充実 ・災害時の要援護者支援
民生児童委員協議会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報の発信・交換 ・成年後見制度利用支援や見守り体制の充実 ・災害時の要援護者支援
連合自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・既存組織のネットワーク化 ・地域資源の活用 ・ボランティア団体やNPO等への支援体制の拡充 ・生涯学習の推進, サークル活動の支援 ・地域情報の発信・交換 ・災害時の要援護者支援
老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存組織のネットワーク化 ・ボランティアや福祉に関する教育・体験 ・生涯学習の推進, サークル活動の支援 ・地域情報の発信・交換 ・福祉関連の優良事業者の育成 ・サービスの受け手に対して, ボランティア活動の理解を深める

生活支援体制整備事業「坂出ささえまるネットワーク」に期待することは何か。

事業者	回答
シルバー人材センター	利用者負担(有償ボランティア)を検討してほしい。
地区社会福祉協議会 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で取り組めるような体制づくり。 ・住民活動以外のインフォーマルサービス(施設・企業の社会貢献活動など)の活用, 連携。
婦人団体連絡協議会	<p>コロナを考えたの今後の活動は手探りである。 コロナをチャンスに独自の良いプランが出てくるかもしれない。それが楽しみ。</p>
連合自治会	高齢者の活動情報と提供および指導いただきたい。
老人クラブ	一人暮らし老人への支援。